

# 2019年度の決算状況について

## 業績について

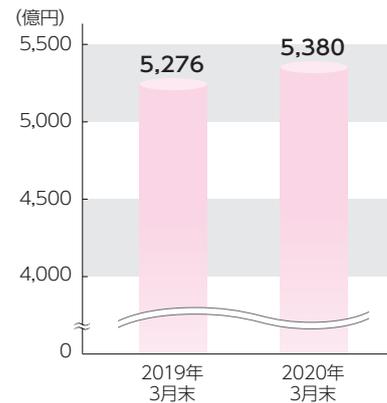
預金残高は、お客さまのニーズにお応えした企画商品である懸賞付定期預金「杜の都でっかい夢定期」や、新本店ビル落成記念キャンペーンなどご好評をいただいたことから、個人預金が69億円増加し、前期比104億円増加の5,380億円となりました。

貸出金は、台風19号により被災されたお客さまの復旧に向けた支援融資など、地域のお客さまの資金ニーズにお応えし、円滑な資金供給に努めてまいりましたが、事業所向けや地方公共団体向けなどの貸出が減少したことから、前期比248億円減少の3,169億円となりました。

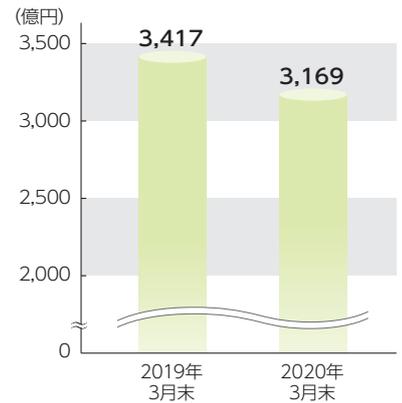
(単位:億円)

	2019年3月末	2020年3月末
預金残高	5,276	5,380
貸出金残高	3,417	3,169

[預金残高]



[貸出金残高]



## 収益について

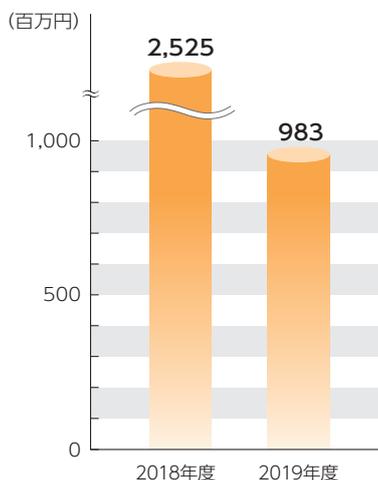
業務純益は、資金運用収益及び国債等債券売却益の減少、経費の増加により前期比1,542百万円減少の983百万円となりました。当期純利益は、業務純益の減少に加え、将来に備えて不良債権処理として貸倒引当金を積み増したことから、前期比330百万円減少の318百万円となりました。

金融機関の本来業務による収益力を表すコア業務純益は、1,206百万円となり黒字を確保しました。

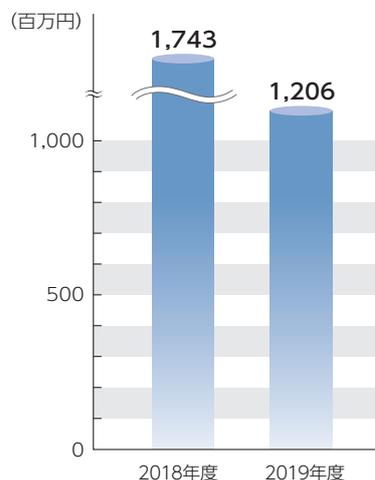
(単位:百万円)

	2018年度	2019年度
業務純益	2,525	983
コア業務純益	1,743	1,206
当期純利益	649	318

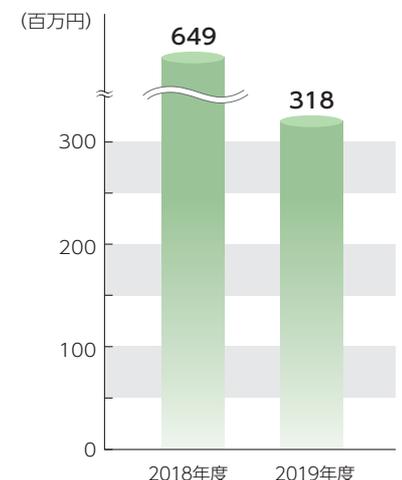
[業務純益]



[コア業務純益]



[当期純利益]



(注) コア業務純益は、業務純益から一般貸倒引当金繰入額及び国債等債券損益を除いて算出され、金融機関の本来業務から得られる利益のことです。

## 業種別貸出金残高の内訳

- |                   |                 |                       |               |
|-------------------|-----------------|-----------------------|---------------|
| ① 不動産業            | 88,519百万円／27.9% | ⑫ 宿泊業                 | 2,562百万円／0.8% |
| ② 地方公共団体          | 71,687百万円／22.6% | ⑬ 農業、林業               | 2,458百万円／0.7% |
| ③ 個人(住宅・消費・納税資金等) | 61,930百万円／19.5% | ⑭ 教育、学習支援業            | 2,007百万円／0.6% |
| ④ 建設業             | 27,731百万円／8.7%  | ⑮ 生活関連サービス業、<br>娯楽業   | 1,992百万円／0.6% |
| ⑤ その他のサービス        | 16,471百万円／5.1%  | ⑯ 物品賃貸業               | 868百万円／0.2%   |
| ⑥ 卸売業、小売業         | 14,471百万円／4.5%  | ⑰ 情報通信業               | 852百万円／0.2%   |
| ⑦ 医療、福祉           | 6,464百万円／2.0%   | ⑱ 学術研究、<br>専門・技術サービス業 | 489百万円／0.1%   |
| ⑧ 製造業             | 5,813百万円／1.8%   | ⑲ 漁業                  | 406百万円／0.1%   |
| ⑨ 飲食業             | 4,803百万円／1.5%   | ⑳ 鉱業、採石業、<br>砂利採取業    | 40百万円／0.0%    |
| ⑩ 金融業、保険業         | 3,957百万円／1.2%   |                       |               |
| ⑪ 運輸業、郵便業         | 3,396百万円／1.0%   |                       |               |

